

第247回研究科委員会・第355回教員会議 議事要録

日時：令和5年7月12日（水） 12：50～13：10／13：30～14：50

場所：後援募金記念棟 会議室1-3

議題

◆研究科委員会◆

[審議事項]

1. 研究科長

(1) 福島大学名誉教授の称号授与について

資料1にもとづき説明があった。質問等はなく、提案通り承認された。

2. 国際交流センター

(1) 2023（令和5）年度 特別聴講学生（共生システム理工学研究科）の受入れについて
ポジキター投影により4名の受け入れについて説明があった。質問等はなく、提案通り承認された。

[報告事項]

1. 教務委員会

(1) 令和5年度9月修了博士前期課程最終試験日程について
資料2にもとづき最終試験日程の説明があった。

(2) 第92回全学教務協議会について

(報告事項)

・大学院教育プログラム部会の状況について

資料3にもとづき説明があった。教授が部会長になった。理工では、学際性重視型を選択した学生は2名である。7月13日に「プロジェクト研究I」の発表会が開催される。

2. 学生生活委員会

(1) 令和5年度大学院一般枠入学料免除選考結果について
回収資料にもとづき説明があった。

(2) 令和5年度入学料徴収猶予選考について
回収資料にもとづき説明があった。院生の対象者はいない。

(3) 学生表彰（9月卒業・修了予定者）について
資料4にもとづき説明があった。(1)の「優れた研究業績」について、一定の基準が定められた。基準内容を知りたい場合は、学生・留学生課に問い合わせると教えてもらえるとの付言があった。

3. 入学試験委員会

(1) 博士前期課程の入学資格個別審査委員会の結果報告について
資料はなく、口頭で説明があった。1名から申請があり、追加の資料提出を求めた。資料からは学会発表の具体的内容が判断できなかつたため、大卒同等の資格があるとは認定できなかつたとの説明があった。

4. 国際交流センター

(1) 2023（令和5）年度大学推薦による国費外国人留学生（研究留学生）
の受入れについて
ポジキター投影により説明があった。2名を受け入れることになった。担当教授より補足説明があった。

その他：

研究科長から7月7日に開催した大学院説明会の報告があった。今回は昨年度の36名よりも9名多い45名が参加した（内、1名は他大学から）。8月18日（金）にI期入試が実施される。指導学生に大学院入試を周知するように依頼があった。次回の研究科委員会は8月23日に開催される。

◆教員会議◆

[審議事項]

1. 学類長

(1) 福島大学名誉教授の称号授与について

資料1にもとづき説明があった。質問等はなく、提案通り承認された。

2. 教務委員会

(1) 令和5年度非常勤講師計画について

資料5にもとづき説明があった。表の8番の時期が変更になった。質問等はなく、提案通り承認された。

3. 入学試験委員会

(1) 令和6年度編入学試験合否判定について

回収資料にもとづき説明があった。志願者数と受験者数は3名であった。質問等はなく、提案通り3名の合格が承認された。性別は男性3名で、福島高専が2名、東京高専が1名であったとの付言があった。

4. 将来構想検討委員会

(1) 共生システム理工学類の将来構想について（中間まとめ）

資料6にもとづき説明があった。A教授から、現行の学類基礎科目を設置した経緯を踏まえて検討したほうが良いとの発言があった。B准教授から、高度情報専門人材支援が採択された場合、定員40名増のほか、全学としての理工の増加分はどうなるのかとの質問があった。C教授と学類長から全学案の250名になるかはわからないとの返答があった。D教授からIER教員で卒研を担当するのは「主に日本人教員」となっているが、学生には外国人教員のもとで卒研を実施したいとの希望があるとの発言があった。E教授から、現行でも外国人教員のもとで卒研を行うことは可能であるとの返答があった。しかし、現行とは別の仕組みを作る必要があり、日本人・外国人教員の区別はしなくても可能との付言があった。学類長から、食農の卒研指導体制も参考になるのではとの発言があった。そのほか質問等はなく、提案通り承認された。

[報告事項]

1. 教務委員会

(1) 第92回全学教務協議会について

(審議事項)

・教室の定員制限解除について

資料はなく、口頭で説明があった。これまでコロナ対応で教室の収容定員を半減していたが、この夏から元に戻すことになった。夏の集中講義から適用されるとのことである。

(報告事項)

・卒業時DP評価の集計結果について

資料はなく、口頭で説明があった。年度末に卒業する学生のDP評価と教員の評価で、理工は8割の教員が対応した。他学類よりもよい数字であったが、今後もさらに対応をお願いしたいとの付言があった。

・令和4年度 卒論などの成績評価分布について

資料7にもとづき説明があった。教員ごとにSをどれくらい出しているかをチェックした。シラバスに提示している基準をもとに判断してほしいとの付言があった。

・令和4年度 卒業時アンケート集計結果について

資料8にもとづき説明があった。専門教育の満足度は他学類に比べて理工が低くなっている。他学類の回答が安易ではないかとの指摘もあるとの付言があった。

(2) 転学類・転コースについて

資料はなく、口頭で説明があった。本年度も対象者がいないとの報告があった。

2. 学生生活委員会

(1) 令和5年度入学料徴収猶予選考について

回収資料にもとづき説明があった。学類では1名が許可となった。

(2) 学生表彰(9月卒業・修了予定者)について

資料4にもとづき説明があった(研究科委員会で説明済み)。

3. 入学試験委員会

(1) 令和6年度入学試験の日程について

資料9にもとづき説明があった。赤字部分が変更箇所となっている。

4. 男女共同参画推進専門委員会

(1) 令和5年度後期研究支援員制度利用者の募集について

資料10にもとづき説明があった。募集締め切りは8月24日となっている。

5. DX推進室

(1) 第1回DX推進室会議について

(審議事項)

・福島大学DX推進計画案の策定について

資料11にもとづき説明があった。担当准教授から補足説明があった。19の計画案を整理・統合したとのことである。

・DX推進室の見直しについて

資料11にもとづき説明があった。

6. 奨学寄附金の受入について

奨学寄附金2件、共同研究1件、受託研究3件の報告があった。

◆教育研究評議会◆

○第401回(6月20日開催)報告

(1)【審議】国立大学法人福島大学職員懲戒規程に基づく審査について

資料非公開のため省略。

(2)【審議】教員人事について

資料非公開のため、省略。

(3)【審議】農学系研究科(博士課程)設置構想検討委員会の結果報告について

連合農学研究科（岩手大学が基幹校）に加わることになった。

（４）【審議】学内諸規則等の制定について（福島大学名誉教授称号授与規則）
資料４にもとづき説明があった。

（５）【審議】福島大学名誉教授の称号授与について
資料５にもとづき説明があった。５名が授与され、理工は１名が授与された。

（６）【報告】学長候補者の決定について
資料６にもとづき説明があった。現学長が候補者となった。

（７）【報告】学長選考・監察会議における審議状況について
資料７にもとづき説明があった。４つのポイントについて説明があった。詳細は資料で確認してほしいとの付言があった。

（８）【報告】今後の自己点検・評価の進め方について
資料８にもとづき説明があった。情報共有とのことなので、資料を確認してほしいとの付言があった。

（９）【報告】令和４年度の就職状況について
資料９にもとづき説明があった。理工は95.8%で、R３年度よりも若干低下した。詳細なデータは資料に掲載されているとの付言があった。

（１０）【報告】モンゴル生命科学大学との学術交流協定締結について
資料１０にもとづき説明があった。締結には、食農の教授が関わった。

○第４０２回（６月２７日開催）報告

（１）【報告】大学改革（学士課程改革）について
資料１にもとづき説明があった。主たる資料は非公開だが、同じ資料は全学集会資料で見ることができるとの付言があった。また、全学集会の動画も公開されているとの情報が理工支援室長から紹介された。

◆運営会議◆

○第１８８回（７月４日開催）報告

（１）【報告】令和５年度入試結果分析について
資料１にもとづき説明があった。東北の志願者数は減少している。都市部で回帰、地方部で減少している。人間発達の減少が顕著であった。

（２）【報告】令和４年度標的型攻撃メール対応訓練の結果について
資料２にもとづき説明があった。理工の開封率が比較的高いとの指摘があった。

（３）【報告】令和４年度監事監査結果について
資料３にもとづき説明があった。詳しくは資料を参照してほしいとの付言があった。

副学長から、入試関係で補足情報があった。志願者の増減の隔年現象が顕著になってきており、振幅が大きくなっている。オープンキャンパスでもよろしくお願ひしたいとの付言があった。

（以上）